

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------------------|----|------------|
| ○事業所名 | Tomo de coco Frère 放課後等デイサービス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025/12/01 | ～ | 2025/12/13 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 39 | (回答者数) 30 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025/12/01 | ～ | 2025/12/13 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026/02/21 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 学校や関係機関との連携、保護者との定期的なコミュニケーションを重視している点が強みである。今後も家庭や地域とのつながりを深め、より充実した支援体制を組めるようにしていくことが期待される。 | 保護者との日常的な連携を大切にしており、日々の様子や成長を丁寧に共有しながら、家庭と事業所が同じ方向を向いて子どもを支えられる体制を整えている。 | 保護者との信頼関係をより大切にし、日々の様子や成長を共有していく。また関係機関との連携を強化し、多面的な視点を取り入れながら支援を充実させる。 |
| 2 | 定期的に行っているモニタリングや職員間の情報共有により、支援内容の向上が図られている点が強みである。個別支援計画に基づいた支援を継続的に実施できているため、今後もさらに専門性を高めていくことが期待される。 | 利用児の「できること」「得意なこと」を大切にしながら、日常生活や社会生活に社会性の向上につながる支援を個別支援計画に基づいて提供している。 | 研修への参加や外部講師を招いた勉強会の実施により、支援の質の向上を図る。個別支援計画の定期的な見直しと評価を行うことで、より実効性の高い支援につなげる。 |
| 3 | 職員間で日々意見の交換と情報共有を行っており、チームとして支援を行っている点が強みである。支援の振り返りを行うことで改善を継続的に行うことが期待される。 | チームで連携し、日々の関りや活動を通して社会性・生活力の向上目指した支援を行っている。 | 職員間の連携をより高めることにより、支援方針や関わり方に統一感ができるようにする。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 外部機関との連携や地域行事の参加をさらに充実していくことが期待される。 | 交流の機会が少なめであり、積極的に関りを広げることが必要。 | 地域の行事や外部との交流に関して情報収集を積極的に行い、参加の機会を増やしていく。 |
| 2 | 支援内容や活動環境について、保護者が直接確認できる機会が限られている。 | 活動場所の構造や送迎方法の関係により、保護者が活動の様子を見学する機会が十分に確保できていない場合がある。その結果、支援の具体的な内容が分かりにくいと感じられる可能性がある。 | ガイドラインに基づく説明責任を踏まえ、見学会の検討や通信・ホームページ等による情報発信の充実を図る。支援のねらいや内容をより具体的に伝える工夫を行い、透明性の向上に努める。 |
| 3 | 日々の支援は充実している一方で、事業所の取組全体が十分に伝わりきっていない可能性がある。 | 個別支援計画に基づき支援を行っているが、日常の活動の中では支援の背景にある目的や工夫が具体的に共有されにくい場合がある。そのため、支援の全体像が見えにくくなる可能性がある。 | 支援のねらいや工夫を、面談や通信等でより分かりやすく伝える工夫を行う。活動の意図や成長の視点が共有できるよう、情報提供の方法を見直し、理解しやすい発信に努める。 |